

(14) 質問者議員 浦山 宣之

件名 1 歳を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現に向けて。

要旨 1 今秋実施予定の乗合タクシー実証実験などの移動手段について。

- (1) 乗合タクシー実証実験のコースや運賃、運行日・運行時間などの詳細は決定したのか。
- (2) これまで課題として訴えてきた「長野中学校区の分断」、「三日市町駅止まりの路線バスとモックルコミュニティバスとの接続」、「南部開発団地～くろまろの郷～上原商業地～市役所へのアクセス」等は、今回の実証実験でどのように解決される見込みか。
- (3) 地域内に走る輸送資源を最大限に活用するため、官民連携の体制構築が必要と考えるが、市の見解を問う。

要旨 2 遠隔診療の進捗状況と処方薬の配送体制の整備について。

件名 2 美加の台小学校の跡地活用について。

要旨 1 美加の台小中一貫校スタート後の美加の台小学校の跡地活用については、いつ頃、どのように進め、決定していく予定か。地域の思いも聞きながら進めていく体制になっているのか。

要旨 2 現在の美加の台小学校の役割は、コミュニティルーム「さくら」や施設開放事業、そして防災拠点として指定避難所としても位置付けられている。市はどのように考えているのか、市の見解を問う。

件名 3 農業の多面的な価値を踏まえた、横断的な施策の展開について。

要旨 1 近年、本市の農業は、高齢化や担い手不足などの課題に直面している。一方で、多世代の方々が主体的に取り組む動きも見られる。オーガニック給食を目指して活動している団体もあり、「農」ある暮らしを求めて「転入」する子育て世帯等もいる。市民の「食」と「農」への関心は確実に高まっている。本来、農業の本質的な価値は、単なる食糧生産にとどまらない。子どもたちへの生きた教育（食育等）の場であり、多世代につながるコミ

ユニティ再生にもなり得ると考える。さらに、農地が持つ水源涵養や土砂災害防止といった「防災・減災」の観点からも、極めて重要な多面的機能を有している。これらの多面的価値を統合し、福祉、教育、防災など、部局の垣根を越えた横断的施策を展開すべきと考えるが、市の見解を問う。

要旨2 「農地付き空き家」としてパッケージ化できないのか、市の見解を問う。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者